

かつて改善すべき点があったが、現在は効果が現れている・外部からの指摘事項が改善している案件（全案件を掲載）

一般文化無償資金協力

（注）本リストは、外務省、一部案件についてＪＩＣＡが改めて把握できる範囲で調査した情報に基づくものです。今後新たな事実が判明した場合には記載の内容に変更があります。

No.	国名	案件名	完了日	案件概要	問題・指摘の概要	原因	これまでの対応及び現状等	今後の対応・教訓等
1	イラン	テヘラン大学に対するLL機材(平成12年度:供与限度額3070万円)	H15年9月17日	テヘラン大学にLL機材等を供与するもの。	LL機材については一度設置したが、その後、同大学が建物の改修工事を開始し、機材を一部取り外し倉庫に保管。H18年度に改修工事が終了した際に再度設置ができず使用出来ない状態となっていた。	当初機材据え付け時(H15年)にトレーニングを受けた技術者が離任し、再設置時に機材取扱マニュアルを十分に理解できる者がいなかったため。	フォローアップ事業で対応(機材再設置)済(H20年10月、4,592,000円)。供与機材は有効活用され効果発現済。	事前に可能な範囲で設置場所の改修工事予定等を十分確認。
2	シリア	パルミラ国立博物館に対する視聴覚機材(平成14年度:供与限度額4970万円)	H16年9月9日	パルミラ国立博物館にテレビモニター、音声ガイドシステム、展示ケース等を供与するもの。	(会計検査院(H21年度決算検査報告)):音声ガイドシステムのレシーバー150台中100台、レシーバー用充電器3台中2台が使用されずに地下倉庫で保管されていた。 (注:当該レシーバー・充電器は、供与機材の一部である音声ガイドシステム用の機材の一部(全供与機材の約1割))	博物館側の使用計画・体制	大使館からの働きかけの結果、レシーバーは全て入場券事務室前に設置され、その存在はプレートで周知されるなど活用に供されることとなった。	先方の要請機材の調達数量の妥当性についての検討、機材供与後の利活用に関する助言をより十分行っていく。
3	ハンガリー	デブレツェン市チョコナイ劇場に対するビデオ撮影・編集機材(平成12年度:供与限度額4190万円)	H18年5月.5日	デブレツェン市チョコナイ劇場にビデオ撮影、編集機材を供与するもの。	機材到着後(H13年10月)、4年以上未設置で使用されていないかった。	ハンガリー内部の事情(劇場長他幹部の交替、劇場予算削減等により、設置場所の改修、変更等の意向が提案されては取下げられる等)	大使館よりハンガリー側に機材の早期設置を継続的に申入れ。H18年5月:チョコナイ劇場に機材が設置され引渡し式実施・使用開始。その後有効活用し効果発現済。	現在、劇場側で購入済のデジタル機材の活用に切り替え、本件供与機材(アナログ機材)を引き続き活用する方途を検討中であり、フォローアップしていく。
4	リトアニア	リトアニア美術館視聴覚機材整備計画(平成17年度:供与限度額3010万円)	H21年4月1日	リトアニア最大規模の現代美術館である国立美術館ナショナルギャラリーに視聴覚機材(ビデオプロジェクター、撮影機材等)を供与するもの。	機材到着後、約2年半未設置で使用されていなかった。	当初、H18年中に完成予定であった機材設置予定場所のリトアニア国立美術館ナショナルギャラリーの改修工事が、リトアニア政府の財政問題により遅延。	大使館より被供与機関及びリトアニア外務省に早期工事終了を申入。 H21年6月20日に供与機材を設置したナショナル・ギャラリーの開所式実施。効果発現済、現在、各種イベントの際に有効活用中。	事前に機材設置予定場所について、建設・改修工事等が予定されている建物は工程確認のみならず、可能な限り右工事がほぼ完了段階に至っている等を条件とすることで調達機材が一定期間据付けできないような事態の発生を防止する。
5	モロッコ	モロッコ王国王立図書館音響・照明・視聴覚機材整備計画(平成17年度:供与限度額4610万円)	H20年6月23日	モロッコ王国王立図書館に音響、照明、視聴覚機材を供与するもの。	機材到着後、約1年半未設置で使用されていなかった。	当初、H17年に開館を予定していた機材設置予定場所のモロッコ王立図書館の建設工事が、モロッコ側の事情により遅延。	大使館よりモロッコ文化省に早期工事終了を申入。 供与機材を設置した上でH20年10月15日に開館式実施。その後、施設は一般に開放され設備が有効に活用されている。供与機材を設置したホールでは、大使館主催行事を含め多くの催し物が開催され、同国文化の中心地となっている。H23年度も大使館共催行事を実施。	事前に機材設置予定場所について、建設・改修工事等が予定されている建物は工程確認のみならず、可能な限り右工事がほぼ完了段階に至っている等を条件とすることで調達機材が一定期間据付けできないような事態の発生を防止する。
6	キューバ	ハバナ市歴史事務所プラネタリウム機材整備計画(平成18年度:供与限度額5000万円)	H21年12月11日	ハバナ市歴史事務所が所有する建物に設置するプラネタリウムを供与するもの。	機材到着後、1年9ヶ月未設置で使用されていなかった。	プラネタリウム設置予定の建物が旧市街に位置し、その改修工事の煩雑さによる工事請負業者の決定遅延、ハリケーン到来等による資材調達遅延等から工事が遅延。	大使館より被供与機関へ早期工事終了を申入。 H21年12月21日に供与機材を設置した科学技術文化センターの完成式実施。同センターはH22年1月から一般に開放され既に来場者は延べ11万人に達しており効果発現済。現在、来館する一般客のほか児童、学生、高齢者等社会的グループごとに様々なプログラムを策定し、多くの国民の天文学に関する知識・関心向上のために有効に活用されている。また、日本の技術者からの指導を受けたキューバ技術者が年2回の特別メンテナンス及び週1回通常メンテナンスを行い適切に維持されている。	事前に機材設置予定場所について、建設・改修工事等が予定されている建物は工程確認のみならず、可能な限り右工事がほぼ完了段階に至っている等を条件とすることで調達機材が一定期間据付けできないような事態の発生を防止する。